

ふるさと吉富町

私たちが暮らす「吉富町」には、現在に至るまでの数々の歴史があります。そして、そこには現在の快適な生活のベースがあります。そんなふるさと吉富町について、いろいろな視点からご紹介していきます。



壺神社の献水神事



吉富神楽



土屋神楽講

第6回

献水神事・秋の神楽奉納

壺神社の献水神事と水占い

土屋の壺神社では、毎年10月14日、秋祭りの日に「献水神事と水占い」という神事が執り行われます。

地元の氏子の中から選ばれた若者が、早朝、禪（ふんどし）一つで佐井川から手桶に水を汲んで持ち帰ります。持ち帰られた浄水は、毎年、神霊の宿る壺に注ぎ入れられます。1年間で蒸発した量だけ注ぎ足し、その量によって、翌年の五穀豊穡に必要な降水量を占うのです。

この神事は、鎌倉時代の弘安4（1281）年、空から天降った明星の神を土屋三郎右衛門という人が発見し、川の中から壺にすくい上げ、壺大明神としてたたえたことが起源とされています。昭和60年4月1日には、町の無形民俗文化財に指定されました。

秋の京築神楽

天下泰平・無病息災・国家長久を祈り、豊作や豊漁を感謝するために奉納されてきた神楽。京築地域は神楽が盛んな地域で、現在、30を超える神楽団体が活動しています。

町内でも、10月は随所で執り行われる秋祭りや、土屋神楽講や吉富神楽を中心に神楽が奉納されます。ふるさと吉富の秋は、笛太鼓のお囃子の音とともに訪れ、神楽で賑わう季節なのです。

町内で見られる！10月の京築神楽

奉納日	曜日	神楽団体	場所
1日	土	吉富神楽	広津下(公民館)
1日	土	友枝神楽講(上毛町)	和井田(事比羅神社)
2日	日	土屋神楽講	幸子古(公民館)
8日	土	吉富神楽	小犬丸上(宇賀貴船神社)
8日	土	成恒神楽講(上毛町)	高浜(公民館付近)
8日	土	土屋神楽講	喜連島(公民館)
8日	土	友枝神楽講(上毛町)	小犬丸下(毘沙門天)
8日	土	豊前蛸瀬神楽(中津市)	鈴熊(公民館)
9日	日	吉富神楽	昭和(公民館)
9日	日	土屋神楽講	広津上(公民館)
9日	日	成恒神楽講(上毛町)	別府(貴船神社)
9日	日	友枝神楽講(上毛町)	幸子上(友愛会館)
14日	金	土屋神楽講	土屋(壺神社)
15日	土	吉富神楽	今吉(春日神社)
23日	日	吉富神楽	界木(公民館)